

議会だより



あまがさき

平成30年
9月定例会

平成30年10月25日
第109号



練習の成果を披露！秋の運動会
(天城小学校)

目次

- 一般質問 P 2
- 総務文教常任委員会・付託案件審議 P 7
- 建設経済厚生常任委員会・付託案件審議 P 8
- 総務文教常任委員会、建設経済厚生常任委員会・現場視察 P 9
- 平成30年度総務文教常任委員会所管事務調査 P 10
- 平成30年9月定例会／編集後記 P 12



大吉皓一郎
議員

活力ある町政運営について

問 空き家再生等推進事業・除却事業・活用事業タイプなど、取り組む考えはないか。

答 除去タイプについては、必要性を感じている。それに向かつて、9月に県の空き家対策支援事業専門家を招いて事業展開に向けて協議していく。活用タイプとしてはポケット公園・駐車場が考えられる。個人の場合、国・県の補助金を活用して取り壊すことが出来る。また、空き家対策総合支援事業を活用して、歴史的建物の改修を行い観光・交流施設として利用できないか検討したい。

問 認知症対象者徘徊事故に備え、補助金等で賠償保険加入することはできないか。

答 認知症患者は増加傾向にあ

ると推測している。賠償保険については、調査を行い検討していく。

建設行政について

問 県道83号線（天城～伊仙線）の拡張・ボトルネック・真瀬名橋の架け替えについて、県との協議はどのようになっているのか。

答 県道83号線拡張については、一体化した重要な箇所と位置づけ、徳之島地域土木事業連絡会などを通じ、県に強く改良の要望をしている。



真瀬名橋

問 県2級河川真瀬名川の砂州の除去について、早急に県に要望できないか。

答 異常気象後の見回りや地域住民からの情報収集により、県の現地確認や除去要望を行っている。

教育行政について

問 各学校の環境衛生検査特記事項について、対応出来ているか。

答 特記事項については、特に緊急性があるものから優先的に対応している。

問 社会教育課及び各施設の運営について。

答 社会教育各種委員会を中心に組織的な運営に取り組んでいる。



叶 忠志
議員

農政について

問 農地中間管理事業の推進を行っているが、現状はどうなっているか。

答 事業推進については、5月に重点地区説明会を開催し、農政座談会でも事業説明を行った。また、農地の所有者及び耕作者に対しては、農地集積推進員が直接声掛けを行うと共に、直接窓口での申請も受け付けている。

現在、約35haの申出書が提出され、85%の進捗となっている。今後、目標面積達成に向け、引き続き推進していく。

問 農繁期における人手不足が懸念されるが、その対応はどのように考えているか。

答 6月18日に県・3町・J.A.・南西糖業で徳之島地域農業雇用確保対策会議を設置し、今期の方針について協議してきた。

今期については、従来の募集に加え、募集チラシを島内全戸に配布し、農家や学生など幅広く周知する。併せて、各事業所においてはインターネット掲載を行い、島外からの受け入れについても検討している。

問 さとうきび自然災害被害対策事業（春植、株出）について。

答 29年産の低糖度に対し、国会議員の先生方や国・県の配慮により、さとうきび増産基金が5月14日発動され、春植と株出を対象に、追肥や薬剤、除草剤の助成事業を実施したところである。

観光行政について

問 世界自然遺産登録に向けた今後の取り組みについて。

答 来年2月の再推薦を目指すことを、国・県・関係市町村で合意した。

本町としても、希少動植物の保護や普及啓発等の取り組みをより一層強化するとともに、登録延期の勧告内容に適切に対応できるよう、国・県・関係機関との協議を進めていく。

問 平土野港多機能新設整備について、町の取り組みは。

答 昨年8月に国土交通省港湾局が島嶼部寄港地の開発に関し

て調査を行い、徳之島では唯一、平土野港が候補地の一つとされた。今後の展望を期待し、国・県関係団体の動向をふまえながら要請活動を行っていききたい。

行政運営について

問 今後、各集落公民館の老朽化に伴い、補修、建替えが必要になった場合に、補助金の検討は出来ないか。

答 各集落の公民館等は、昭和40年から50年代に建設されたものが多く、建替え等の更新費用が近いうちに発生する可能性がある。本年度「公共施設整備基金条例」を制定し、必要な修繕等を検討していく。



島 和也
議員

社会教育について

問 陸上競技場への芝生整備計画は進んでいるか。また、陸上競技場に休憩や着替えが出来る施設の計画は出来ないか。

答 陸上競技場への芝生整備については、十月中旬頃から工事を実施していく。休憩や着替えが出来る施設については、既存の本部席にある更衣室を利用頂いているので、今後の建設は計画していない。

防災施設について

問 設備や管理体制（生涯学習推進室を含む）はどのように捉えているか。今後、町民から親しまれる様な施設の愛称等は考えてないか。

答 施設管理は総務課が一括管理しており、通常は町民の生涯

学習施設として、講座やイベント等を生涯学習推進室で調整を行い実施している。今後も連携しながら管理運営に努める。施設愛称については、町民に親しまれるようなものは必要だと考えている。

福祉行政について

問 各保育所の施設全体の耐久問題や待機乳幼児問題を今後どのように捉えているか。

答 昭和五十年代に設置された各保育所の老朽化は、保育行政の大きな課題となっている。待機児童に関しても0歳児が十数名待機している。施設整備、受入体制の課題はあるが、方向性を打ち出す時期だと考えている。

行政について

問 保健福祉課、他新規営業課の機構改革は出来ないか。

答 機構改革については必要だと思っている。事務の多様化に備えた課の統廃合や新設について

は、引き続き協議を進めていく。

農政行政について

問 馬鈴薯の販売体制への行政としての取組みを教えてください。

答 馬鈴薯の生産振興やPR活動などは、農協や関係機関と連携して様々な取組みを行っているが、販売に関しては主に農協が行っており、行政としては出荷先等に関する取組みは行っていない。



秋田 浩平
議員

交通政策について

問 航空路対策について。

答 徳之島空港の利用者は年々増加しており、徳之島への入り込み客の約65%が航空路の利用である。今後も入り込み客の増加が期待されるため、既存路線の充実と強化で利便性の向上に努める。

問 ホッピングルート（奄美〜沖縄）について。

答 奄美群島アイランドホッピングルートが7月1日に開設し、徳之島から沖縄への航空ネットワークが繋がりを、観光振興に大いに期待される場所である。

その一方で、奄美への上り便が午後のみとなった弊害もあり、三町関係機関で航空会社への強い要望活動も行っている。今後も利用者の利便性の向上に努めていく。

建設行政について

問 県道天城〜伊仙線の天城中から真瀬名橋までの進捗状況について。

答 県道83号線拡張、真瀬名橋の架け替えは、一体化した重要な箇所と位置づけ、県に強く改良の要望をしている。

問 町内道路のボトルネック箇所について。

答 町内には西阿木名・兼久・

与名間地区にボトルネック箇所がある。相続問題で未実施となっている箇所については交通上危険箇所であり、今後も、県へ改築の要望を行っていく。

教育行政について

問 各小中学校の体育館の建替えについて。

答 学校各施設の老朽化等の状況、施設整備の具体的方針などの、天城町学校施設等長寿命化計画を策定し、各施設の改修を実施していく。

問 各学校における過去に指摘された箇所の対応について。

答 緊急性のあるものなどを優先的に対応してきたが、使用頻度や優先的なもので実施できていない箇所もある。引き続き、計画的に対応したい。

問 天城中学校の防球ネットについて。

答 部活動及び安全面も考慮して、早急に対応したい。

問 駅伝大会について。

答 大会については平成31年2月10日に開催する。今後は、9月中に実行委員会を発足させ、開催に向けた準備作業に取りくむ。

問 コミュニティスポーツクラブについて。

答 本町社会体育行政の懸案事項と考えている。今後、近隣の市町村と情報を共有し、設立に向け検討していく。



柏木 辰二
議員

教育行政について

問 山海留学の取組みは、どのようになっているか。

答 山海留学の取組については、2指定校区に実施委員会が組織された。

また、島外からの受け入れ形態の充実を図るため、教育委員定例会にも提案して協議しており、今後は山海留学制度実施要綱の改

*「道路のボトルネック」とは・・・道路の幅が急に細くなったり、工事中などで車線が規制され車の流れが阻害される箇所のこと。

正と、実施委員会の活動の促進に繋げていきたいと考えている。

問 徳之島高校へ通学する生徒に対するバス運行時間変更等を含めた対応は、どのようなになっているか。

答 バス通学等に対する対応について、今年7月に高校生を対象としたアンケート調査を実施したところである。この結果を基に、集計・分析を行い関係機関との協議を進め、今後の対応について検討していく。

建設行政について

問 兼久・当部線改良工事の進捗状況は、どのようになっているか。

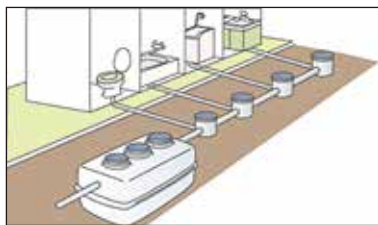
答 兼久・当部線の改良工事については、事業再開に向けて継続して調査を行っており、補助事業の導入ができないか検討している。

環境整備について

問 平土野地区浄化槽整備(市

町村設置型)計画の進捗状況は、どのようになっているか。

答 市町村設置型の導入に向けては、現在県と平土野地区の導入も考慮しながら対象事業に関する検討を行っているが、まだ事業対象地域を特定した計画までは至っていない状況である。



合併浄化槽

問 危険家屋等の取り壊しに対する対応は、どのようになっているか。

答 危険家屋の取り壊しについて、空家等対策の推進に関する特別措置法及び天城町空家等対策計画に基づき、継続的に指導書を送付している。今後も所有者や管理者に対して、指導の強化を図っていく。



久田 高志
議員

農政について

問 さとうきび自然災害被害対策事業、農家救済状況について。生産農家959戸に対して半数以上の農家が救済されていないが今後の対策は？

答 計画に甘さがあり予算が足りなくなってしまう、交付金の申請面積と実面積を照合中だが面積に差異が生じている。精査後、事業量(実面積)に見合った交付金とし、正確な面積を農家に通知する。かなりの残予算が予想されるので未救済農家を対象に再度、事業申し込みを受け付ける。

航空航路対策について

問 利便性向上への取り組みについてどのように取り組まれているか。

答 離島割引運賃は群島外の学

生(22歳)まで対象を拡大予定。奄美路線の午前便の件は来年の春ダイヤに向け戻す予定。航路対策の寄港地変更時のバス運行の件については3町で協議する。

社会教育について

問 結シアター手舞の活動状況をどのように考えているか。

答 現在、練習する場所の無償貸し出し等の支援はしている。当時の国民文化祭の事業の中でも残っているのは結シアター手舞だけで、各市町村長の間でも高く評価されている。青少年育成や中高青年団との連携、沖縄、奄美公演の計画等の発信力も素晴らしい。本町としてもしっかりと支援していく。



松山善太郎
議員

**福祉行政について
(高齢者福祉)**

問 外出支援について。

答 現在、社会福祉協議会において「福祉有償移送サービス」を実施している。また、社会福祉法人普門会において「地域における公益的な取組」の一環として、買い物支援事業を計画。

本町としては、この取組を喫緊の対策としてサポートしながら、抜本的な対策を検討していきたい。

問 敬老祝いの金の見直しについて。

答 敬老訪問については、今年度は昨年比37名増加の277名を見込んでいる。

敬老祝い金については、平成19年度に見直し、90歳以上が1万円、100歳以上が5万円となっているが、金額を見直す時期に来ていると思っている。

建設行政について

問 町営住宅の建替(中央地区)及び新築(小規模校地区)の見直しについて。

答 中央地区の建替は、平土野原団地を平成31年度までに完

了し、平成32年度からは、大和川団地の建替を予定している。

小規模校地区の新規建設については、平成33年度三京地区に、2戸計画している。

問 未完成の町道について。(阿布木名線、名須2号線、松原前野線)

答 地権者の同意が得られず未完成の現状である。地域の皆様には大変不便をかけているところであり、今後も継続的に解決に向けて努めていく。

教育行政について

問 奨学資金の貸与について。(増額、島外出身者への拡大、返済の免除について)

答 奨学資金の貸与の金額については、他市町村等の金額も参考として増額について教育委員会等で協議したい。また、島外出身者に関しても、天城町育英奨学資金貸与条例及び施行規則を見直して、貸与できるようにしたい。返済の免除については、

今後の課題にしたい。

問 学生寮の建設について。

答 地元の高校の募集状況や、生徒の応募状況等の情報を学校と共有しながら、検討していきたい。



上岡 義茂 議員

建設行政について

問 平和東線改良工事について。

答 平和東線改良工事については、路線計画に伴い、5月に地域住民への説明会を実施したところであり、今後事業化に向けて取り組んでいく。

行政運営について

問 副町長不在で行政運営に支障は来しないのか。

答 町長の職務を代理する職員を定める規則第2条に基づき、総務課長が副町長の職務代理を

し、行政運営に支障がないように努めている。

問 今後、入札執行される建設工事の件数、時期はどのようになっているのか。

答 建設工事の件数は、建設課24件、農地整備課5件、企画課1件、農政課2件、商工水産観光課9件、社会教育課2件、水道課9件、合計52件。入札執行時期は、9、10月頃を目処に各課で進めている。

問 町長が後継者指名した方の後援会組織から建設業者に期限をつけて推薦書の要望が出されているが、入札執行に問題は無いのか。

答 後援会組織から建設業者に期限をつけて推薦書の要望が出されている件については、認識していない。入札執行については、適正な入札執行を行っている。



総務文教常任委員会・付託案件審議（一般会計）

選挙管理委員会室

歳入決算総額 513万8千39円
歳出決算総額 1千596万1千194円

監査委員室

歳入決算総額 200円
歳出決算総額 154万4千140円

教育委員会社会教育課

歳入決算総額 3千959万155円
歳出決算総額 2億423万9千232円

総務課

歳入決算総額 43億2千981万2千668円
うち繰越明許費 1億3千290万円
歳出決算総額 16億7千384万1千334円

会計課

歳入決算総額 63万6千548円
歳出決算総額 2千839万3千339円

企画課

歳入決算総額 7千707万9千839円
歳出決算総額 2億506万7千287円

教育委員会総務課

歳入決算総額 5億1千60万3千344円
うち繰越明許費 4億7千931万2千円
歳出決算総額 7億9千555万8千880円

税務課

歳入決算総額 4億1千375万312円
歳出決算総額 6千324万3千848円

商工水産観光課

歳入決算総額 3千72万7千202円
歳出決算総額 1億3千275万2千275円

総務文教常任委員会では、平成29年度一般会計歳入歳出決算について、採決の結果、賛成全員で原案のとおり認定すべきものと決定しました。

なお、審査過程に於いて次の5点を委員会の意見として執行部に申し入れる事が適当であると決定しました。

1. 基金運用については、目的を定め内容を十分精査し進めて行くべきである。
2. 多額の不用額が見られるので、当初予算の見積もりについては厳格に取り組み、事業執行は計画性を持って推進すべきである。
3. 町補助金等事業については、その後の活動状況、成果等の報告・公開を行い、委託料については委託内容、契約条項を精査し適切な事業の推進に努めるべきである。
4. 各施設等管理においては、災害対策等の管理体制を徹底すべきである。
5. 各種税や使用料の滞納繰越分が多額となっている。
自主財源の確保は大きな課題であり、関係課においては、更に自主財源の確保に向けて、法的手段も含め徴収に最大限の努力をすべきである。

建設経済厚生常任委員会・付託案件審議（一般会計・各特別会計）

農業委員会

一般会計歳入決算総額	774万7千933円
歳出決算総額	2千689万3千158円

水道課

特別会計歳入決算総額	2億3千436万5千309円
歳出決算総額	2億3千137万3千978円
一般会計からの繰入金	4千503万5千円

建設課

歳入決算総額	2億7千226万6千289円
うち繰越明許費	10万円
歳出決算総額	5億2千284万6千741円
うち繰越明許費	1千397万円

農政課

歳入決算総額	1億3千356万9千587円
うち繰越明許費	875万8千円
歳出決算総額	3億6千714万8千717円
うち繰越明許費	875万8千円

保健福祉課

歳入決算総額	4億44万4千65円
歳出決算総額	12億3千449万7千485円

国民健康保険事業特別会計

歳入決算総額	15億2千32万8千659円
歳出決算総額	13億5千396万6千967円
一般会計からの繰入金	1億7千816万5千533円
基金繰入金	4千163万円

介護保険事業特別会計

歳入決算総額	9億2千479万9千869円
歳出決算総額	8億9千244万4千14円
一般会計からの繰入金	1億2千738万5千円
基金繰入金	1千513万3千円

後期高齢者医療事業特別会計

歳入決算総額	7千167万4千128円
歳出決算総額	6千924万5千642円
保険基盤安定繰入金	3千516万2千円

農地整備課

一般会計歳入決算総額	7千914万4千473円
歳出決算総額	4億4千858万3千166円

町民生活課

歳入決算総額	4千947万7千903円
うち繰越明許費	1千953万1千円
歳出決算総額	2億8千447万6千855円
うち繰越明許費	1千951万73円

建設経済厚生常任委員会では、平成29年度一般会計歳入歳出決算について、採決の結果、賛成全員で原案のとおり認定すべきものと決定しました。

なお、審査過程に於いて次の6点を委員会の意見として執行部に申し入れる事が適当であると決定しました。

1. 保育所の老朽化に伴い、早急な建替と統合も検討すべき時期ではないか。
2. 畑地帯総合整備事業においては、同意取得を徹底し、事業の早期推進を図ること。
3. 秋利神キャンパスパークの再整備と有効利用に努めること。
4. 天城町総合振興計画にある町道整備及び住宅建設は、着実且つ早期に実施すべきである。
5. 水道料の徴収にあたっては、徴収手段を見直し、更なる収納率向上に努めるべきである。
6. 昨年も指摘しましたが、多額の不用額が見られるので、予算編成に際しては、事業に対する需要予測を適切に行うとともに積算根拠などを十分に検討すること。なお、多額の不用額が想定される場合には、速やかに減額補正すべきであり、適正な予算管理に努めるべきである。



▲ 防災センター備蓄備品
毛布・マット



▲ 防災センター備蓄備品
備蓄品

総務文教常任委員会
現地調査



▲ 移動図書車両

建設経済厚生常任委員会
現地調査



◀ 公営住宅建築工事（与名間）



▲ わんぱく広場遊具設置工事（総合運動公園内）



▲ さいごうウォーク推進事業（岡前）

平成30年度総務文教常任委員会所管事務調査



萩市観光協会



道の駅カモンワフ

視察年月日…平成30年5月10日(木)～11日(金)

視察メンバー…大吉皓一郎委員長・島和也副委員長・前田芳作委員・

鶴博典委員・平山栄助委員・久田高志委員・

(随行者・藤井恒利局長)

所管事務調査地…山口県「道の駅カモンワフ」、山口県萩市観光協会、

「道の駅秋しーまーと」、「萩大島船団丸」

調査目的…観光行政及び漁業6次産業化への取組み状況について

視察内容

○下関市「道の駅カモンワフ」

「食」べて「遊」んで「海」を「感」じるをテーマに新鮮な海の幸を楽しめるレストラン、お食事処やファーストフード店、お土産品店などを備えた複合商業施設。

周辺には、しものせき水族館「海響館」、唐戸市場が三位一体となり、家族連れで楽しめる一大観光スポット。

○萩市観光協会

萩市観光の現状において強みは、萩ブランドの認知度の高さ(町並み・伝統工芸)、本物の歴史・文化遺産・豊富な自然、世界遺産「明治日本の産業革命遺産。」

弱みは、市内公共交通網が不十分(山陰本線1時間1本程度)、お土産品種類不足、後継者不足があげられる。

今後の観光客増加に向けた取り組みとして、ターゲットを50～60代の年代層に、山口宇部空港の就航による韓国・

台湾を中心とした東アジアからの観光客誘致。

また、地域の観光経営に関する啓蒙活動↓民泊(体験プログラム等)による農家泊や漁家泊)の充実に一層取り組んで行く。

※萩城下町の日本有数の史跡や重厚な武家屋敷風情を壊さない町並みや外観を守って、歴史を重んじるような高い建物の抑制や高い看板の禁止等を条例化していました。

○萩市「道の駅秋しーまーと」概要 ※ふるさと萩食品協同組合

- ・1996年萩漁港埋立地の一体整備計画で検討着手。
- ・1999年施設の運営主体を第三セクターではなく事業協同組合とすることを決定。(民設民営) 地元漁協と17事業者で組合設立。
- ・2000年観光市場から庶





萩しーまーと内説明

民市場へ変更し、地産地消の本格的拠点施設を標榜し、農水省「食品流通構造改善促進事業」を適用し国交省より道の駅に認定される。

※漁業を通じて現役漁師が、地域の特性を活かし、協力して地域起しを行っている道の駅

特徴は漁港に隣接して立地条件を活かし鮮魚仲買業者や食品加工業者共同で、新鮮

な魚介類を主とした生鮮品及び加工品の販売（地産地消）、また、レストラン・土産物店を設立当初からの事業者で運営し、今では萩市の一大観光市場及び庶民市場として位置づけられている。

○「萩大島船団丸」について

人口700人の萩大島で、巻上げ漁の3船団の親と同年代の漁師を束ねて、「鮮魚ボックス」なるものを取り入れ、日本初の漁業6次産業化への第一歩として取り組んだ「萩大島船団丸」を設立。

市内大井港より船で8分位にある萩大島は漁業で生計を立てている集落で、近年は漁獲量の減少や後継者不足の問題があり漁業としての生業が困難な状況にあるなか、経営コンサルタントの堀内知佳さん（31歳）に相談をする。

今後の漁業再生を目指した事業計画を作り、6次産業化

を2011年3月に立上げ。

取れたてのアジやサバ等を「鮮魚ボックス」・「船上一夜干し」を活用して、お客さんのニーズにあわせ仲買を通さずに直接飲食店や消費者へ届けるシステムです。

システム構築まで、一番の課題である販路の確立で代表の堀内さんは、主に大阪の飲食店に毎日、飛び込み営業を行った結果、今では固定の飲食店が全国にまがっています。

「鮮魚ボックス」・「船上一夜干し」の活用により、今まで漁協での取引が無かった魚種も出荷出来るようになったことが一番のメリットだと感じました。

今日では評判を聞き、全国・外国の漁師を目指す若者も移住しているとのことでした。

徳之島は、海に囲まれ新鮮な魚が豊富ではありませんが、

地産地消だけでは生計を維持するのは難しいために漁業者の後継者不足にも現れていると考えます。

漁業者や町が協力し、知恵を出し合って新鮮な魚の一夜干しや海産物の加工製品など徳之島独自の特産品を開発して、天城町の漁業の活性化につなげていければと考えます。



船団丸出荷作業

平成 30 年 9 月定例会

番号	件名	結果
報 告 3	平成29年度健全化判断比率の報告について	
議案第44号	天城町公共施設整備基金条例の制定について	原案可決
議案第45号	天城町報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部を改正する条例について	原案可決
議案第46号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第47号	天城町職員団体のための職員の行為の制限の特例に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第48号	出頭人及び参加人に対する実費弁償に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第49号	天城町税条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第50号	天城町町営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第51号	天城町立兼久小学校建設基金条例を廃止する条例について	原案可決
議案第52号	天城町保健福祉センターの設置及び管理に関する条例を廃止する条例について	原案可決
議案第53号	天城町土地開発基金条例を廃止する条例について	否 決
議案第54号	天城町固定資産評価審査委員会委員の選任の同意について	同 意
議案第55号	天城町固定資産評価審査委員会委員の選任の同意について	同 意
議案第56号	天城町固定資産評価審査委員会委員の選任の同意について	同 意
議案第57号	人権擁護委員の候補者の推薦に対する議会の意見を求める件について	原案可決
議案第58号	天城辺地に係る総合整備計画の変更について	原案可決
議案第59号	天城町町道の路線廃止について	原案可決
議案第60号	平成30年度天城町一般会計歳入歳出予算補正（第3号）について	原案可決
議案第61号	平成30年度天城町国民健康保険事業特別会計歳入歳出予算補正（第1号）について	原案可決
議案第62号	平成30年度天城町介護保険事業特別会計歳入歳出予算補正（第1号）について	原案可決
議案第63号	平成30年度天城町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出予算補正（第1号）について	原案可決
議案第64号	平成30年度天城町簡易水道事業特別会計歳入歳出予算補正（第2号）について	原案可決
議案第65号	平成29年度天城町一般会計歳入歳出決算の認定について	認 定
議案第66号	平成29年度天城町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
議案第67号	平成29年度天城町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
議案第68号	平成29年度天城町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
議案第69号	平成29年度天城町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
	議会運営委員会の閉会中の所掌事務の継続調査について	可 決
	常任委員会の閉会中の所管事務の継続調査について	可 決
議案第70号	平成30年度天城町一般会計歳入歳出予算（第4号）について	原案可決
議案第71号	平成30年度簡易水道事業特別会計歳入歳出予算補正（第3号）について	原案可決

◆ 編集後記 ◆

夕刻から朝方にかけてはすっかり冷え込む季節となってきました。季節の変わり目は風邪もひきやすくなりますので気を付けたいところです。

さて、先月立て続けに襲来した台風24号、25号によって、天城町でも住家の全壊3件、半壊5件、一部損壊155件と多くの被害がありました。他にも牛舎や倉庫の屋根が破損したり、サトウキビや農作物への被害も甚大で被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。

今回の台風により、災害時の対応や防災について、検討・改善しなければならぬことが多数あるかと思えます。今後も皆様からのご意見、ご要望をいただきながら、議会活動へ活かして参ります。

議会だより編集副委員長

昇 健児